

第 64 回羽咋高校関東同窓会総会・講演会・懇親会の報告

日時:令和 5 年 9 月 23 日(土)12 時~16 時

会場:アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区 JR 市ヶ谷駅から徒歩 3 分)

当日は、ご来賓 25 名、会員 63 名、ZOOM 参加 8 名の 96 名が、母校の発展を願いながら旧交を温めた。

総会では、20 名の物故者への黙祷の後、赤池清会長(20 回生)が「在京の他高校の同窓会や石川県人会との交流を推進し、母校の発展に寄与したい」と挨拶を行った。轟千栄子同窓会本部長、井上政人校長が、母校の現状と取り組みを紹介した。令和 5.6 年度の役員改選が行われ、新会長に赤池典充氏(27 回生)が選出され「前会長が取り組んできた活動を、さらに推進していく」と挨拶を行った。



講演会では、松永秀和氏(19 回生)が、「ヒマラヤに咲く青いケシ」と題して、2013 年から探索に訪れ、撮影した青いケシの花々を紹介し、「過酷な県境で生存する青いケシはいわば『炭鉱のカナリア』。無くなることは環境が瀕死状態であることを意味する」と話した。

懇親会では、鳥毛茂則氏(5 回生)が開会の辞を、岸博一市長(25 回生)、寶達典久宝達町長(48 回生)が祝辞を述べた。山上徹氏(14 回生)の乾杯の発声で懇親会に移り、談笑の輪がいくつもできて盛り上がった。新会員が 12 名紹介され、最後に、折口信夫氏が作詞した羽咋高校・金沢二水高校・大聖寺高校の校歌が「校歌三兄弟」として披露され、全員で羽咋高校の校歌、応援歌を歌い、来年の再会を誓い合った。



新会員のみなさん、ありがとうございます

